設立趣意書

三菱の事業は、創立者である岩崎彌太郎が 1870 年（明治 3 年閏 10 月）、海運業の経営に着手した時に始まりました。それ以来三菱グループは、さまざまな分野に事業を展開し、今日まで時代とともに歩んでまいりました。

1870 年から約 150 年が経過しようとしている現在、世界は大きな転換点にあります。世界規模での経済活動は拡大を続け、科学技術の発展により第四次産業革命と称される時代を迎えています。一方、気候変動、資源枯渇、貧困問題等、持続可能な世界の実現に向け、克服しなければならない多くの課題が顕在化しています。日本は国内に抱える様々な社会課題に対処しながら、むしろその経験を生かしつつ、グローバルな視座に立った課題の克服と新たな未来の創出に向かっていかなければなりません。

このような時代において、社会を支え、未来の扉を開くことのできる人材の育成は極めて重要な課題です。社会の変化に伴い、教育の在り方が変容していくなか、新たな教育技法やテクノロジーによる教育イノベーションの可能性が生じるなど、次代の人材育成・教育モデル創出への期待が高まっています。

すべての子供・若者は、それぞれの個性に応じて、はかり知れない可能性を秘めています。ともすれば様々な理由により埋もれてしまっている一人ひとりが持つ“輝き”の可能性を、自らあるいは周りの支援を通じて発見し、磨き続けていくことが、未来の担い手としての資質、能力の獲得につながります。そして、この未来の“輝き”を育てることが、日本さらに世界の将来に希望をもたらします。

三菱グループは、創業以来社会に貢献することを経営の基本理念としてまいりました。2020 年に創業 150 周年を迎えるにあたり、子供・若者が夢と希望をもって挑戦し続ける社会、すべての大人がこれを支え続ける社会の実現に向け、伝統の精神を生かした社会貢献事業に取り組む決意をいたしました。そこでこのたび、未来を担う子供・若者の育成を目指す教育活動への助成と活動成果を高めるための支援、情報発信、関係者間の連携機会の提供等を通じて多様な活動やその成果を広く社会に波及させるための事業を行うことを目的として、一般財団法人三菱みらい育成財団を設立することといたしました。

本財団は、三菱関係各社の拠出資金により設立するものです。今後およそ 10 年間に亘る事業を展開する中で、助成先である教育関係者が自ら開発した教育プログラムを継続的に実施・不断に改善を行うことで、次代の人材育成・教育プログラムとして定着させていく活動をサポートします。また、人材育成・教育に係る様々な関係者とのパートナーシップを通じて未来に向かう子供・若者を応援し、社会の未来を育むことに貢献してまいります。

以　上